

次期総合計画タウンミーティング（緑区） 開催報告

1. 日 時 : 平成 30 年 11 月 24 日（土） 14:00～16:05
2. 場 所 : 緑区役所講堂
3. 出席者 : 河村市長、馬淵緑区長、総務局松雄企画調整監、総務局難波企画部長、
総務局鈴木企画課長
4. コーディネーター: 加藤 栄司氏（（一社）地域問題研究所調査研究部長）
5. 参加者 : 73 名
6. プログラム
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ
 - (3) 名古屋市次期総合計画中間案の説明（映像）
 - (4) ご意見・ご提案の聴取
 - (5) 閉会

7. 発言の記録

○市長あいさつ

【市長】

- ・それでは、ようおいでいただきましてサンキューベリーマッチということでございます。
- ・これ、中間案ということになっとなるのは、中間ということなんでしょうけども、特色のあることはあんまり書いてありませんので、1つのスタンダードといいますか、当たり前このんだけはやってかなかんということでございますので、いろんな文句やこうしろとか、それから身近なことでも結構でございますので、どうぞ何でもおっしゃってください。
- ・それから、緑区ということでございますので、この間、消防団の観閲式がありまして、そのときにもちょっとしゃべりましたけど、割と災害には比較的遠いような気がしますけど、この間、大高城へ、あれ、今、どえらい熱入れとるんですわ、こっちのほうも。名古屋城だけじゃなしに。熱田神宮より南ですね。
- ・これはやっぱり昔は、特に南区の辺は万葉集の里でええとこだということで、大高城まで行きますと、ずーっと向こうの熱田神宮のほうまで見えるんだな、あれ。で、熱田神宮から信長が南を見て煙が上がると。だで、これは砦が攻められとるんだで、それからレッツゴーということで行ったというんで。
- ・熱田神宮のほうへ行きますと見えんせんですわ何も、建物がようけあって。だけど、大高城から見ると、わーっと見えてですね、あっ、やっぱりこれ何か海だったんだなということがようわかります。ずーっと海が、大体鶴舞公園の辺までずーっと入ってきとったというところございまして、やっぱり防災上も、やっぱり相当気つけなあかん。川もね、天白川なんかのあれがあるもんで気つけないかんということがようわかります。

- ・こんなことや何やら、何ですか。熱田神宮だと 1,900 年前でございますんで、その最後の彼女が宮簀媛命ということで、この緑区に居館跡というのがちゃんと残っておりますんでね、みんなでそういう昔のことも大事にしましょうと。
- ・名古屋市内は、区画整理でみんなひどい道路ばっかになってまったもので、味気がないがね、これ。だから行きたくないまちナンバーワンになってまうわけですよ。緑区はまだ大分古い道が残っとるでね、これ。ああいうのも大事にせなかんですよ。ということで、皆さん、ご自由なご意見、楽しみにしておりますで、どうぞお願いします。
- ・今日はサンキューベリーマッチ。ありがとうございます。

○ご意見・ご提案の聴取

【コーディネーター】

- ・皆さん、改めてこんにちわ。今日は連休のはざまでございますで、皆さん、こんないい天気のときに紅葉狩りに行かずに、こうやって真面目に名古屋市の将来のことを考える集まりにお越しいただきまして、誠にありがとうございます。私は、先ほどご紹介にあずかりました、本日のコーディネーターを務めさせていただきます、地域問題研究所の加藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・では、早速始めさせていただきます。着座させていただきます。
- ・これより、名古屋市次期総合計画中間案へ皆さんのご意見、それからご質問、ご提案を賜りたいと思います。
- ・皆さん、冊子をお出しいただけますか。今日の資料で「NAGOYA をつくろう!」という概要版になっております。今、クリス・グレンさんの映像が流れていましたけれども、そこで流された内容は全て、こちらの概要版に書いてあります。お開きいただくと、5 ページ、6 ページに「長期展望に立ったまちづくり」とあって、ここに先ほど映像に流れました 5 つの都市像が出ております。都市像 1 から都市像 5 までございます。これに沿って、これから皆様にご意見、ご質問を順番に頂戴していきたいと思います。
- ・始めます前に、まず進め方の話について、私から幾つかお願いがございます。
- ・テーマ 1、テーマ 2、テーマ 3 ということで、3 つのパートに分けて、皆さんからご意見、ご質問を受けたいと思っています。すなわち、最初は、都市像 1・2 について、数名、3〜4 人ぐらいの方々からご意見、ご質問をお受けしまして、そして、登壇しております市長を始め市の職員の方々から皆様方に、ご質問に対するお答えだとかあるいはコメント等をさせていただきたいと思います。
- ・そして、それが終わりましたら、今度はテーマ 2 ということで、2 つ目のパートですね、都市像 3・4 について数名の方からご意見、ご質問をお受けし、コメントさせていただく。
- ・さらに、テーマ 3、都市像 5 とその他次期総合計画中間案の全般ということで、それぞれまた同じように、ご意見頂戴し、またお答えしていくというスタイルをとりたいと思います。
- ・と申しますのは、会場におられる方、今回はもちろん皆様方のご意見を伺うことが第一ですけれども、ここに書いてある内容を、今日お集りのできるだけ多くの方々に理解して

いただくということもあります。ですので、あちこち話が飛ぶのを避け、都市像 1・2 についてどうだろうかという話をみんなで共有することが大切だと思いますので、今申し上げたような形で進めていきたいと思っております。

- ・ よろしく願います。
- ・ 本日は、身近なこと、日ごろ不満に思われたりしている課題について率直にご意見頂戴する場でもあるのですが、それ以上に、この名古屋市次期総合計画の中間案に対するご意見、この計画案をよりよくするために皆様方からご意見を頂戴したりご質問をお受けするということが主目的になりますので、中間案に対するご意見とかご質問を中心にお話しいただきたいと思っております。もちろん、その中でも身近な生活課題なんかも挙げていただいても構いませんけども、頭の片隅では中間案を意識しながらご発言いただけるとありがたいと思っております。これがイの一番のお願いです。
- ・ それに加えて、手を挙げてご発言いただきたいと思っております。私が合図しますので、そうしましたら皆さん手を挙げていただきまして、係の者がマイクをお届けします。会場が広うございますので、マイクを通じて、はっきりと聞き取れるように。とすると、皆さん早口になってしまったり、名前を言い忘れてしまったりしますが、できるだけ落ちついて、大きな声でご発言いただくということでございます。
- ・ それから、3 点目のお願いです。ご発言いただく最初に、お名前とお住まいをおっしゃっていただきたいなと思っております。お住まいといっても、住所を特定できるほど詳しくはおっしゃっていただかなくて結構です。どの学区に住んでおられるか。今日は、緑区の方々が中心だと思うんですけども、そのほかの区から来られた方もいらっしゃると思いますので、例えば「名東区から来ている誰々です」とかいう感じで言っていただければよろしいです。それが 3 点目のお願いです。
- ・ それから 4 点目のお願いですけど、ご発言が終わりましたら、係の者にマイクを一旦お返しくださいませ。
- ・ 最後に 5 つ目のお願いでございます。できるだけ多くの方に、多様なご意見を頂戴したいと思っております。ですので、お一人当たりのご発言は 3 分以内。といっても、正確に時間をはかることまではしません。そこまで厳しくはやりませんので、皆さんには、そろそろ 3 分ぐらいになったかなという感覚をお持ちになりながらご発言いただきたいと思っております。
- ・ ただ、私の感覚でもちょっと長過ぎるかなと思うとき、時々、「手短に」と申し上げます。しかしながら、いきなり話を切る必要はありません。最後一言まとめていただきまして終えていただけるとありがたいと思っております。
- ・ このような進め方で進めていきたいと思っております。皆様方のご協力に基づいて進めていきたいと思っております。
- ・ さて、皆さん、もう一度 5 ページをお開きください。
- ・ これから都市像 1・2 についてご意見、ご質問を頂戴したいと思っております。都市像 1 は、「人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち」。高齢者も障害者もとありますように、高齢者を始め障害者の方、いわゆる福祉の話とかそんな話を中心になろうかと思っております。それから都市像 2、「安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち」。子どもや若者が笑顔ということで、子育てですね。子育てに関する話です。

- ・都市像 1・2 に関しまして、まずはご意見、ご質問を頂戴したいと思います。
- ・それでは、皆さん、挙手をお願いいたします。
- ・どうぞ。元気に手を挙げておられた一番前の方、お願いします。

【1 人目（緑区）】

- ・先月の末に高知へ行ったんですけど、高知の人がね、あそこ、一豊のとこだけでですけど、名古屋へ来たことがあるかと僕聞きましたら、ど真ん中祭りね、それこそ世界一大きなお祭りなんですけど、若者の、これをもっと広めてほしいというか、それにはもう何度か行ったっていう、若い、ヤングの女性の方がたくさんみえましたので、またよろしくをお願いします。
- ・それと、手羽先と煮込みうどんがおいしいっていうことでね、やっぱりこのグルメ、市長さんが進めとるグルメの戦略、B 級ですか、この戦略が相当当たるとるような感じで、はっきり言って、今日、万博が大阪で通ったんだけど、あっちよりも名古屋のほうが安くておいしくて、旅館も安かったという、土佐の人たちの気持ちなので、短歌の会で僕は 4 泊 5 日で行ったんですけど、ぜひ今後ともよろしくお願いします。
- ・それと、ここ桶狭間へ見えたんで、そのとこだけ強調したいんですけども、善照寺通とかこの桶狭間へ、このところの警察の横を通って信長の軍団が、一分団ですけども行きました。だから、すぐ近くで戦いの道筋であったということもちょっと認識いただいて。400 年前の公道と、緑政土木局長さん知ってみえると思いますけど、私一番うろうろここらでしているんですけど、ほとんど変わってないです。だから、京都の美観地域じゃないけど、公道自体 400 年前と同じです、これは。刈谷へ行く道も東浦へ行く道も。これは市長さんも知ってみえると思いますけどね。
- ・それと、先ほど出た大高のお城の周りの、城のところの公道も、これは江戸時代のそのまま。廃城になっちゃったんですけど、そのまま街路が残っておるんで、そういう意味での位置づけで発展させていただくということと、毎年緑地公園で合戦の祭りを県と一緒にやとるんかな、緑地公園でやっていますよね、大高緑地公園で。それを、やっぱり現地。だから、いろんな建物あるけど、スーパーマーケットもあるけど、生山という、そういう現地でやっぱりやらないと、それはちょっと最初は試行錯誤ですけども、それをあんな公園みたいなところでやっているよりも、実際に公園があるので、そこでご迷惑かかる、それを最小限にとめてやるということですね。
- ・それと、環状 2 号線が東陵中学校の横に走ってるんですけど、そこに橋が 1 本架かってるんですけど、国の国道の 302 のね、そこへやっぱり横断幕を一つ、市長さん、桶狭間、清須から桶狭間へ向かった信長進軍路とかね何とか、それは市長さんが考えることなんだけど、一つ横断幕を書いて、その橋のところがやっぱりあれなんですよ。信長軍が通ったところなんです、僕の見識では。
- ・ちょっと時間がないようですので、あと 2 つ簡単に言いますね。
- ・宗春の劇座を見たんですけど、劇座の名古屋弁よりも市長さんの名古屋弁のが良かったです、本当に、本当に。劇座もよかったんで、頑張ってるんで、ただ、あれの経済政策ね。市長さんと同じような立場で消費をふやして景気をよくしようということでやとらせる、いわゆる宗春さんで人気もよかって、一番江戸でも幸せだったですね。それ

をやっぱお城と同じように、宗春、宗春ってもうちょっと言ってください。

- ・それとあと、水道の法律が変わるそうなんです、やっぱり名古屋の水は木曽川さんありがとうで一番おいしいので、これを民間にしたら高く売れるかもしれないけど、市民としては安くておいしくてたくさんの水が欲しいということです、直営という単語はよくないかもしれませんが、何しろ名古屋の持ち味を、木曽川の水の恩恵を受けられるように今後とも、これは上下水道局長さんも同じご意見だと思いますけども、よろしくお願いします。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございました。
- ・1人目の方、いろいろご意見いただきました。
- ・実は、ご発言の内容は、多分都市像5と都市像3の話が主だったように思います。

【1人目】

- ・郷土愛でよく。

【コーディネーター】

- ・わかります、わかります。

【1人目】

- ・それをめぐるには、今の桶狭間の戦い。

【コーディネーター】

- ・わかりました。
- ・でも、当然ご意見としては承りました。ちょっと気が早かったですね。

【1人目】

- ・そうですか。

【コーディネーター】

- ・じゃあ、次の方、いかがでしょうか。
- ・一番後ろのほうで手を挙げておられます方。
- ・よろしいですか。

【2人目（緑区）】

- ・よろしくお願いします。
- ・今日は、中学生の人権についてお話ししたくて来ました。
- ・中学生が毎日通学で持っているかばんの重さについてです。教科書は、便覧資料、資料集、副教科の教科書類以外は、基本的に毎日持ち帰っています。なので、リュックをしょっているんですけど、重さは約10から15キロあって、今日はその実物をお持ちした

んですけど、一度背負っていただきたいです。

【コーディネーター】

- ・いいですかね。

【市長】

- ・はい。
(かばんを持つ)
- ・いやいや重たいですわ。重たい。これは重たいわ。

【2人目】

- ・これを、小学校を卒業したばかりの中学1年生の女の子とかもこれを持って毎日通学しています。登下校5キロ近くあって往復10キロ歩く子もいます。夏の40度近い暑い日もです。これを3年間毎日です。
- ・教科書を学校に置いてもいい許可を出すなど、いい案を学校で検討していただくよう投げかけてほしいです。
- ・よろしくお願いします。

【コーディネーター】

- ・よろしかったですか。
- ・実演もいただきまして。今確かに名古屋市に限らず、通学かばんの重さの話は全国的に問題になっていて、いわゆる置き勉とかいう話も、許している学校もあるみたいなのところも聞いております。
- ・さて、3人目の方、いかがでしょうかね。
- ・よろしくお願いします。

【3人目（中村区）】

- ・よろしくお願いします。
- ・子育てということに関して、なるべくテーマからずれないように話したいんですけど。
- ・一番大事なのは、民度の高い市民の育成だと思うんですけども、その過程では、特に未来を担う子どもたちに対してどういう教育をしていくかということ、すごく大事だと思います。先祖を大事にして親を大事にして兄弟仲よく、家族仲よくという話が大前提だと思うんですけども、例えば大人になったら、仕事でうまくいかない人は家庭がうまくいかないという相対の関係があるということは何となくわかるんですけども、こういうことを子どものうちから伝えていってほしい。もしかしたら道徳の時間にあるのかもしれないかもしれませんが、それを子どもたちにより深く教えるにはどうしたらいいかなと。
- ・例えば、教育勅語を復唱するとか言ったら批判がいろいろ出てくるかとは思いますが、それに準ずるようなものを、どうか授業の中に入れていくことというのはできますでしょうか。あるいはもうされているでしょうか。
- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・あとお一人ぐらいいかがでしょうかね。お子さんに関すること。
- ・じゃあ、あちらの方。

【4人目（緑区）】

- ・都市像1の「人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らして活躍できるまち」ということで。
- ・一番今、当面直面している日本全体の話ですけど、外国人労働者たくさん入ってくるのは決まったということで。
- ・実は、この緑区で商売されている中国のご婦人が居酒屋をやっているとして、そこは大変繁盛していると。
- ・そこのご婦人がものすごく興味深いことを教えてくれたんですけど、中国の人を集めて、元日本軍の通訳をやっていた人が日本語を教えるということでそこへ行ったら、日本語を教えてくれて、最後にお金を払うのかなと思ったら、1人500円ずつくれるそうです、中国の人に。そのご婦人は、中国の人が500円払うのはわかるけど、500円ももらうのはわからないと言っているんですね。
- ・通訳というのはみんな戦犯扱いだったので、GHQからは。どんなことがあったのかは想像するしかないですけど、何かの罪滅ぼしのために500円ずつくれたのかもしれないし、その方に聞くしかないですけど。
- ・それだけでなく、その居酒屋はなぜ繁盛しているのかなってずっと観察したら、そのご婦人は、中国の人にはない知恵を使っているなというのが観察したらわかって。熱燗は松竹梅で、冷やで出すのは宮の雪。こんなことは中国の人知らないわけで、誰かに教わったことをそのまま素直に実行しているというのが全てにわたってそのご婦人の方針みたいで、なるほどこれで繁盛しているんだなって。ただ安いだけではない。
- ・夕方5時に開店して、即満席。そのまま深夜までずっと続く。こんなお店は、中国の人がやっている店では見たことないですね。中国の人がやっているお店って、もう雨後の筍のごとくたくさんあるんですけど、どこも苦戦してまして。
- ・いろいろそのご婦人と話したら、出身が旧満州の中国東北部の方で、日本人のことを親の代からよく知っている。生活を半分ともにしていたような方なんですね。もちろん中国共産党の教育を受けてきた方なんで、日本人が知らないようなことをやっぱり知ってて、そのご婦人の 아이폰 には日本軍に虐殺された中国の人の写真が山のように入っていて、それを見せるんですね。かといって、何か恨みつらみを日本人に言いたいということではないんですね。
- ・そのご婦人と話をしていると……。

【コーディネーター】

- ・失礼ですが、一言でまとめて言うのでしょうか。人権に関してどうということ。

【4 人目】

- ・まとめて言うと。

【コーディネーター】

- ・整理して最後に一言。

【4 人目】

- ・市長も区長もその居酒屋で飲んでいただくといいというか、机上の空論ではない、よい知恵が湧くというのを感じています。

【コーディネーター】

- ・なるほどね。本当に身近な多文化共生が、そのお店ができているみたいなところですかね。

【4 人目】

- ・日本の人も中国の人もそこでは仲よくできるんですね。

【コーディネーター】

- ・国籍を問わず、非常に何かいい雰囲気のある。一体、じゃあ多文化共生というのは本当に自然にやるにはどうしたらいいかという、そういうネタが転がってそうだという。

【4 人目】

- ・そうなんです。

【コーディネーター】

- ・わかりました。
- ・ご意見というよりはご提案というか、一回行ってみて、多文化共生を肌で感じてみてくださいというようなご意見だったかなと思います。
- ・どうもすみません、途中で話切っちゃいまして。
- ・それでは、4 名の方からお話を伺いました。
- ・1 人目の方は、いわゆる B 級グルメとか歴史観光のまちに関するお話プラス水道法。名古屋の水はおいしいと。水道法の制定の話もあって、民営化などと言われているかもしれないけども、ぜひそのおいしい水を続けてほしいというようなご意見だったかと思います。
- ・2 人目の方は、中学生のいわゆる通学かばんの重さの問題ですね。
- ・それから、3 人目の方からは、家庭を大切にする教育。そんな話を実際名古屋市では展開しているのかどうなのかという話だったですね。
- ・それから、4 人目の方からは、身近な多文化共生、人権に関するお話の中で、一回その居酒屋に行ってみると、その辺のコツみたいなのができるんじゃないかというお話でし

た。

- ・さて、市長さん、よろしいでしょうか。

【市長】

- ・ありがとうございます。
- ・まず、1 人目の方。
- ・ど真ん中まつりはなかなか大したもんだで、あれ、学生が自分で。名古屋まつりは、あれ税金祭りなんです、あれは。ただ、何でもか言うと、かばって言うと、焼け野原になっちゃったわけです、名古屋ちゅうのは。だから、祇園祭やね、ほかのどこみたいに残ってないわけで、全部焼け野原になったところで、何ぞお祭りやろうかということで、やっぱ税金を使わざるを得なかったということでございますが、ど真ん中まつりはそうでなしに、民間の名古屋まつりですので、立派なもんです。せいぜい応援したいと思っております。
- ・それから、手羽先と煮込みうどんがうまいじゃないかという。これはあんまり言うといかんですけど、山ちゃんの親父が亡くなりましてね。ああいう人を名誉市民にしないかん、本当なら。役人じゃなしに。あの人亡くなって、ご夫人とこの間一緒に飲みましたら、夫も亡くなったもんで、一番だしのオリジナルの味、スパイシーな味ですけどね、にするんだわ言って。なかなかうみやあですよ、ぴりっとしとって。お母ちゃんの愛情がこもった手羽先ですのでね。個人の宣伝するといかんかわからんけど、名古屋のことだでええと思います。
- ・それから、味噌煮込みといえ、何だっけな、味噌煮込みも、わしもよう食いますけど、ちょっと高過ぎせんかいう声は強いですね。2,000 円とか。それなりに何言っとなのと言いますと、それだけの中身があると言うんですけど、またあんまり言うといかんけど、中区で 700 円ぐらいで食えるうみやあやつがありますので、これは。そういうところも、700~800 円のところもあるということ。これもうみやあですよ。
- ・それから、桶狭間の今の話で、これ本当に熱入れておまして、もうこんで毎年 1 億ずつですよ、これ。3 年間じゃないですか。都合 3 億円。これ、信長の道という。桶狭間だけじゃなくて、一番向こうの清須のどこから、これは記録がありますので、5 月 19 日ですか、午前 4 時ですね、清須を馬 6 騎でしたか、自分の入れて。
- ・で、「人生 50 年、下天のうちは比ぶれば」と出てきて、熱田神宮が 8 時、桶狭間が大体 12 時から 1 時ぐらいじゃないかと言われております。今川さんの首をとられたのと同じ道を通ったと書いてあります。
- ・人生大逆転街道ということでですね、本物の道をきちっと復元しようと。四国の 88 カ所みたいにしよみやあと。あれは死ぬ前に行くところですけど、どちらかといえ。どっちかというより、桶狭間のほうはやっぱ夢を叶えると。織田信長 27 歳、青春の夢ということだもんで、女に振られたときとか、商売失敗こいたときとか、選挙に落ちたときとか、そういうときに。それと特に子どもさんに。
- ・さっき方の教科書の話もそうだけでも、日本の教育は 3 回も国連から勧告を受けとるんです。あまりに競争的で子どもがかわいそうだと。3 回もですよ、これ。だから、子どもさんなんかが、内申点が悪くて悩んで死んじゃうでいかん、これまた。それから、入

試に失敗したってあるじゃないですか。そういうときにこの信長の道を歩いて、生きる勇気を持ってもらおうというようなことで、またきちっと本当に、ええぐらいに皆さんに歩いてもらうように、人生大逆転街道というのをつくっていきます。

- ・環状2号線の大高緑地のサムライの道、あれ県がやっとするもんでよ。

【1人目】

- ・そうですか。

【市長】

- ・あれ、わしもちょっと違和感はあるんだ。
- ・呼ばれりゃ行きますけど、やっぱり本物のところでやってほしいわね、これ。本物。
- ・ただ、最近はやってますよ。去年も一応やりましたね。
- ・古戦場まつり。こちら、名古屋が主催しておりまして、同じ場所でやっとなります、これは。
- ・大高緑地じゃない、環2の横断幕、これつくりゃええがな、あんた、区長。

【区長】

- ・それはあればいいですけど、それはまた資金の問題とか効果のことをよく考えて。最近、1号線の歩道橋に桶狭間古戦場という看板つけたりとか、1人目の方とはまた違う視点でそういうプレゼンスを高める取り組みはやっておりますので、また頑張ってやっていきます。

【市長】

- ・やってちょう。金なんか知れとるで予算要求しやいいし、自分の給料から出してもええで。

【1人目】

- ・1号線のほうが全国的だで、ちょっと2号線でね。

【市長】

- ・目立ちます。

【1人目】

- ・目立つところに。

【市長】

- ・わかりました。
- ・それから、名古屋言葉は河村さんのほうがうまいがやということでお褒めを賜りまして、ありがとうございます。

【1 人目】

- ・上手なもんで。

【市長】

- ・いやいや、わしのやつをいろんなことという人がいますけど、400 年使つとる本物ですから。信長も河村さんと同じ言葉でしゃべったという説が有力です。会ったことないでわからんけど。
- ・水道がうみやあと、水。これはありがたいこと。木曾川の水ですけど。これは確かにうまいと思ったけど、役所の官営を守りたいことですけど、民間にすると本当にそう悪なるのかというのはね、今のところ、ぱつと突っ込んでおりませんけど、民間にするとうまなものは幾らでもありますよ。ラーメン屋だって、公務員がやっとならこんなうまいラーメンないです。フグ屋だって、公務員がやっとなら、今どきフグ毒で大変ですわな。

【コーディネーター】

- ・そろそろ 2 人目の方のお願いします。

【市長】

- ・はいはい。
- ・それから、教科書が重たいということですけど、これは本当に、ロサンゼルスへ行って一遍調べたことあるんだけど、ロサンゼルスなんか、本を学校に置いてくるのはもっと分厚いですわ。ロサンゼルスの教育長が、わしに何で日本ってあんな教科書が薄いんだ言うの、反対に、という話があつて。いや、日本は、学校が 2 つあるんだ言うたら、何のことそれ言うもんで、塾ということがわからん。向こうはありませんからいうことで、教育の本体的なところをまあちょっと、子どもを 1 人ずつ大事にするということで、画一斉教育というんですけど、日本のやり方、儒教ですわ、これは。そういうところから、まっと 1 人ずつを大事にする、本格的にやり直すというのを今年から、来年度から挑戦します。まず、教員の皆様に手挙げてもらおうと思つとる、参加する人。というふうにやったりまして。
- ・となると、学校が楽しなるんですよ、みんな。学校の中で置いてあります世界史の教科書なんかこのぐらいありますよ。ものすごいぶつといやつが学校の中に置いてあるの、アメリカは。ということなので、持ち帰れんようなやつです、そもそもということです。
- ・それから 3 人目の方が子どもたちに何をエデュケートするかということで、道徳的なもの。これはなかなかあれなんだけど、僕は、あんまり子どもさんたちに道徳道徳言つて、ろくに道徳がわかつたらん先生たちがそういうことをあんまり言うもんだない。もっと自由にやらしたらないかと、子どもさんたちのやりたいことをやらせる、みんな。体が不自由だろうが、親が離婚しとろうが、発達障害があろうがね、自分の好きな人生を歩ませてあげるといふほうにすべきだと僕は思つとるんです。
- ・それから、4 人目の方は、その居酒屋は早速行かさせてもらいますので、後でちょっと場所を教えてってちょうだい。

- ・だけど、一遍話してみますけどそのお母ちゃんと。だけど、中国・満州で殺害された中国の人の写真をようけ持つと。これはあんまり言っちゃいかんですけど、要するに、第二次大戦、その前からやっぱり悲しい歴史ってものすごくて、人類というのは。本当に。世界の歴史なんか見とると、殺し合いに次ぐ殺し合い。残虐きわまる。
- ・日本も実はそうだった。被害者としてもね。最後、原爆が2つまで落ちたということでございますので、そういうのは見て、そのわかりませんよ、中国内戦もすごかったですから。共産党と国民軍がものすごかったです、これ。お互いに殺し合った。日本でも、戦国時代なんか殺し合いばっかやとった。だで、まあええわ、とにかく一遍お母ちゃんと話してくるで、そのときに。仲ようやりましょうということだと思いますけど、ということでございます。

【コーディネーター】

- ・それでは、2巡目のパートに移りたいと思います。皆さん、もう一度6ページをごらんください。
- ・今度は、都市像3「人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち」ということで、ここでは、そういった防災の話とか、それに加えて防犯の話、あと交通安全のお話なんかもここに入ってこようかなと思います。
- ・それから都市像4「快適な都市環境と自然が調和したまち」ということで、地球温暖化とかの環境問題、それからまちそのものの都市環境の問題、そういったようなところ。そういう調和したまちをつくる、環境に優しく快適で便利なまちをつくろうという都市像でございます。
- ・この都市像3・4に関しまして、ご意見、ご質問ありましたらお願いいたします。

【5人目（緑区）】

- ・前々回ぐらいのときに、私のほうは花を植えたりいろいろしているので、市長さんにぜひ花が欲しいんだけどねと言ってたら、本当にどっさり下さって、ちょっと資料にもつけましたけれど、もうすばらしい公園の、いい公園ができて、本当に小さいけれど芝生も植わった公園だったので、本当に今どんどんどん子育て中の若夫婦が来てくださいます。
- ・結果的に、住民がそういうふうが増え過ぎて、今度は逆に小学校に通う人が、日曜公園に集まるの30人ですよ。30人ということは、35人クラスだったら1クラス集まるのと同じ。それも小学校1年生が10人もいるんです。そういう、悪いですけど、本当にこの公園で遊べばいいからって、すごくかっさって、みんな来たいって言うので、本当に、多分全国でも一番人口増えてるんじゃないかなと思う。
- ・それで、ちょっと問題が起きたんですね。
- ・私のところは、近くに大きな道路がなくて、本当に古い小さい住宅街に、結果的に通り抜けのようにして、今、すごく自動車が通っているんです。本来なら、1本道路をどこかに大きいのをつくってほしいぐらいなんですけれど、どうしても、多分できる要素ができないもんで通ってるんです。
- ・それで、私たち老人が見守りも一応しているし、それから一応自治会として土木事務所

と警察に、減速とかもうちょっと線を書いてくれとか、いろいろ要望書はきちっと出しました。だけど、今のところ、こういうことをそんなに早くはできないって言うんですけど、私としては、何とか子どもがけがをしない前に、もう少しきちっと整備していただけたらありがたいなと思って。

- ・それから、本当にぎりぎり 2 台がすれ違ったらどぶのところへはまりそうなところに子どもが 30 人も通行しているので、何とかどぶ板だけはめていただけるお願いしたいと。
- ・それと同時に、市長さんが前から、古い話になるかもしれませんが、地域委員会にこういう君たちがやってほしいことをぜひ取り入れるようにして予算もつけてやるで。だけど、選挙までやっちゃったのでなかなかうまくいかなかったんですけど、私はもう一度こういう細かいことをできる地域委員会として、やっぱりいい職員さんで、正義感があって真面目な職員さんを中心にボランティアも入らせていただいて、ぜひ地域の問題点を解決できる委員会をもう一度考え直していただけたらありがたいと、今日は思っております。
- ・よろしくお願いします。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございました。
- ・以上 2 点ですね。
- ・お二人目の方、いかがでしょうか。
- ・どうぞよろしくお願いします。

【6 人目（緑区）】

- ・お願いします。
- ・3 つあるんですけども。
- ・1 つ目は、流砂現象が起こる場所というのは、東北地震のときも、東京の浦安でものすごく被害出ましたよね。それから、この間の北海道地震でも、震度 7 のところは被害があったんですけど、遠く離れた札幌でもすごい被害が出ました。
- ・そういうことを考えると、やっぱり地震が絶対いつか起きるんですから、少なくとも流砂現象が起こるようなところから公共施設は減らしたほうがいいと思うんですよ。それが 1 点です。
- ・それから 2 点目は、台風とか何かがあったときに、避難指示とか避難勧告が出ますよね。そのときに、名古屋一円が避難勧告を受けるとかというのがあって、避難したのはほんの 1% ぐらいしかなかったとかいうのがありましたし、実際緑区なんかで水の心配のある場所少ないと思うんですよ。だから、避難指示とか何かがある程度、もうちょっと地域を限定して、標高何メートル以下の人は避難するとか、何かもうちょっと。それから、裏山のない人は避難しなくてもいいとか、堤防よりも高い人は避難しなくてもいいとか、何かもうちょっと具体的に避難指示を出していただければと思います。それが 2 点目です。
- ・それから 3 点目は、この地区でもしか大きな災害が起きたとしても、自宅待機が一番多いと思うんですよ。だけど、今の制度だと、自宅待機というのは個人の責任でやってく

れと。多分水も1カ月ぐらいとまるかもしれませんし、電気も1週間ぐらいとまるかもしれません。そういう間の自宅待機している人に対する事前の援助とか何かに少し力を入れるべきじゃないかなと思います。

- ・以上3点です。

【コーディネーター】

- ・コンパクトにわかりやすく、ありがとうございました。
- ・それでは、3人目の方、どなたかいらっしゃいますか。
- ・どうぞ。

【7人目（緑区）】

- ・よろしくお願いいたします。
- ・ふだんから防災活動をしておりまして、その中で思っていることをちょっと言わせていただけたらなと思います。
- ・関東大震災のときに、東京から名古屋にも大阪にもたくさん人が移住したという話を先日聞きました。ふだんから自助・共助に関する活動を市民として、また災害ボランティアとして行っているわけですけれども、どの程度の地震が起こるかは誰にも想像できないと思うんです。
- ・名古屋全部がもし被災した場合という最悪の状況を想定して考えたことなんですけれども、16区あるので、区ごとにほかの地域の過疎地との姉妹提携などをすれば、一時的に避難することが少しでも可能になるのではないかと思います。
- ・高齢者になりますと、高齢者に限らずですけれども、名古屋は地元の方が大変多いので、親戚の家に一時避難するとかいうことも、親戚みんなが愛知県にいる場合大変難しいことがあると思いますので。ただ、高齢者になりますと新しい環境で暮らすことが大変難しいと思うので、慣れ親しんだ人たちと一緒に避難したいという気持ちを持つ方が大変多いと思うので、集団で避難できるような関係性づくりとといいますか、名古屋は大都市ですので、地方の過疎地との姉妹都市締結とといいますか防災姉妹都市締結などできたら、気持ち的に安心かなと思いました。
- ・実際に、例えば外国人が愛知県は2番目に多いですけれども、外国人の方は東日本のときに自分の実家の国に帰ったりなどしまして帰ることができたり、地元が東京ではない方が実家に一時避難したりということができたということがたくさんあったという事例がありますので、名古屋の方が安心して集団で避難できる場所づくりをしていただけたらいいなと思っています。
- ・その上で、ふだんから自助・共助は努めていきたいと思っています。
- ・そのようなシステムがもう既にあつたら申しわけないんですが、もしなかったら、ちょっとご検討いただけたらいいなと思いました。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございました。
- ・先ほど手を挙げられたこちらの方、お願いいたします。

【8人目（北区）】

- ・公共交通のことでちょっと、1つ。
- ・私の住んでいるあたりなんですけれど、結構市営住宅とかが多い地域でして、河村市長昔自転車で回っていた地域なんで、ある程度わかるかなとは思いますが、私の子どものころは結構若い人が多かったんですけれど、今、大分年をとってきて、動きづらいという人が結構多いような場所です。
- ・少し歩いていけばバスとか電車とかもあるんですけれど、その少しの距離がもう年をとるときつくなってくるというような話を私の知り合いからも結構聞きます。実際、バスが来るターミナルとかに人が多く住んでいるわけではなくて、そこから少し奥まったところに多く人が住んでいるので、そういったところに少しバスを延長するとか、あとは、病院だとか大きなスーパーだとかにバスをちょっと寄らせてやってルートを変えていくということがもしできるのであれば、やっぱバスが使いやすくなるのかなということを感じましたので、ちょっとその辺、検討できれば検討していただきたいかなと思います。
- ・あともう1点、これは全然関係ないところなんですけれど、ちょっとまちなかを歩いていたりとか何かしていると、結構荒れ果てた花壇を結構あちこちで見かけます。
- ・結構もったいないなという思いがあって、それと同時に、個人で勝手に道路に飾っちゃっている人とかいうのを結構見かけるので、そういった市が管理している花壇とかを市民に、こういうところをあなたたちに任せますよということをやれば、まちなか、もっときれいにできるんじゃないかなというのが1つ思います。
- ・名古屋市じゃないですけど、愛知県、花の生産量も全国1位というのもあるので、そういったところもやっていけば、もっといいまちになるんじゃないかなというのが私の意見です。
- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・花壇の里親制度みたいな感じですね。そんな感じで、公共の道路の前の植え込みみたいなところを。

【8人目】

- ・九州がやっているみたいだ。

【コーディネーター】

- ・そうですね。結構各地でやられますね。
- ・どうもありがとうございました。
- ・4名の方からお伺いしました。お時間も限りありますので、私から特にまとめはしませんけども、住環境のこととかいろいろ出てまいりました。
- ・市長、よろしいですか。

【市長】

- ・5人目の方の、基本的にはあんまり広い道ばっかにせんようにはしてまいりたい。だけど、通学路みたいなところはちょっと特殊だもんで、そのところ、一遍区長聞いてってよ、30人通学、子どもがおるところを車がびゅんびゅん通ったたら危ないもんで、それは通行禁止にしたりとかなんかようけありますけどね、それ。

【5人目】

- ・本当に昔の住宅地の中を行ったり来たりが激しいという。

【市長】

- ・だで、要望書も、警察もええけど市長に宛てて書いてちょ、それ。それはこっちでわーわー言います。

【5人目】

- ・警察にもちゃんと言ってあるし、今土木事務所も一生懸命とってくださってやっていたいて。

【市長】

- ・警察に言っても、大抵すぐはまずいかん言いますよ。本当に。

【5人目】

- ・今日は市長に。

【市長】

- ・土木事務所もやる気があるのかないのか、2～3年たったらかわってってまうしね。だで、一遍具体的に、それじゃあ区長が見にいきますで。

【5人目】

- ・よろしくお願いします。

【市長】

- ・それは危ないで。
- ・それから、地域委員会については、本当にああいうことをやらないかんの、本当は。ただやっぱね、なかなか民主主義の選挙、選挙やるのがみそではある。やった人は全員賛成ですよ、よかった言って。どえらい学区の委員長で反対しとった人も、やってみたらトップ当選しましたけど、やっぱり選ばれるのは違うなって言ってました。自分の義務感もできるし、うれしいってまず。町内会長もええけど、うれしいって言ってました。
- ・これはまだちょっと形を変えて努力しとるけど、残念なことに、あのとき区政の委員長会からやめてくれというような要望書もらって、何考えとるんですか言って怒ったったことありました。区政の委員長さんでも、賛成の人はようけおるようになりました。とい

うことです。民主主義というのはそれほどまでに大変で弱いものだということです、これは。

- ・それから 6 人目の方。これ、流砂現象じゃなく液状化のことですよ、普通に言われますと。
- ・これは、本当に日本最大のゼロメートル地帯なんでね、ここ。だで、実際は、正直言うとうようわからんというのが現状でございますけど、だけどこれ、建築工事のときに実はボーリングしてありましてですね、あれ何メートルメッシュだったかな、相当細かくメッシュでわかっというんです、地下の状況ちゅうのは。
- ・ほんだで、あれをまっとう生かしゃええと思うんだけど。だけど、結局びびっとするのか。

【企画調整監】

- ・いえいえ。液状化も公開しています。

【市長】

- ・公開しとるか。

【企画調整監】

- ・見ていただければ。

【コーディネーター】

- ・緑区でも、液状化起ころところもあるみたいですね。

【市長】

- ・だけど、市民の皆さんがそういう認識がないということは、やっとなんと同じだよ、まあちょっと見てもらえるように。一応今言いましたように、建築工事のときのやつがあることはあるんですわね。という状況です。

【コーディネーター】

- ・公共施設はできるだけそこに建てないよというご提案でしたね、たしか。6 人目の方からは。
- ・建てる時には、多分いろいろ、今言われたように、液状化に対応したつくり方をされているんでしょうかね。

【市長】

- ・後でしゃべってもらってもいい。
- ・それから避難勧告をまあちょっと限定というか、ちゃんと丁寧というか、やれということ、これは確かにそうで、一遍わし市長にならしてもらってから 100 万人の避難勧告を出したことがありますけど。ほんで今防災を、学区別でなしに、ここまでやったんなら旧町名ぐらいまでに変えろ言っというんですわ。
- ・学区の場合は、金持ちの人とそうでない人とうけあるの、学区というのは。旧町名は、

大体地形を同一にしていますから。この坂の下だとかそういうがあるので、旧町名ごとにやりますと、やっぱり避難訓練も真剣になってやりますよ、みんなこれ。近所のどこへ逃げるかという話。

- ・学区に1個も、そういうのもあってもええんだけど、小学校まで行く間に、特に水が低いところは、この間が危ないです。というので、体の不自由な人の場合は特にそこまで行けれえせんということもありまして、これ、早速もうちょっとこの話は取り上げさせていただきます。
- ・それから、自宅待機する人に対しても力を入れろということで、確かにそうだね、これ。自宅待機は垂直避難とか言いますが、実際は結構これが重要なので、まあちょっと確かにこれ、力を入れるようにしますわ。わかりました。
- ・それから7人目の方。16区ごとに、防災で他の市町村と連携しろというのは、これはおもしろいですよ、これ。もし区長が公選されとれば。
- ・緑区って、今二十何万。

【区長】

- ・24万6,000。

【市長】

- ・24万6,000だと、小牧とか春日井ぐらいでないか。

【区長】

- ・春日井よりちょっと多い。

【市長】

- ・春日井より多いかね。春日井は春日井市で大抵どっか連携を考えとるはずですよ。そうでしょ。何で区長だけやらんでもええんだということになりますんで、これやっぱり。だで、それは皆さん、それぞれ知恵を絞ってやるのはええと思うけど。
- ・あんまり言うと感じ悪いけど、区長同士で区長会の前に談合しとってよ、自分のとこだけ変なこと言わんようにしようとか、そういうことをやっとするように聞いておりますわ。どうだい。

【区長】

- ・そんなことはありません。

【市長】

- ・本当か、おい。本当のこと言ってもらわなあかんで、これ。どうもそういう話があるんです。
- ・だで、そうなってくると、やっぱり選挙やったほうがええかなと。区長なら区長のね。やっぱ選挙やりますと、人間というのは、やっぱり皆さんのほうを見るようになりますで。

- ・ということは、後でこれを区長に答えていただくということで。
- ・この辺のどこ毎回言っときますで、今日も言ってかなあかんけど、防災関係は、もうそろそろ家庭訪問せないかん言っとするのに、区役所の職員なり市の職員がみんな1軒1軒。何でかいうと、いろんな行事に出てくる人たちは熱心な人で、これ、学区連協関係の人たちは。それはそれでありがたいんだけど、出てこん人たちは、外国人、それから体の不自由な人たち、そういう人たちにはビラ配っとするからええですって、そんなもんじゃないですよ、これ。
- ・だで、単純な数でいえば、名古屋市の職員って教員入ると3万6,000人。で、100万世帯ですから、単純に1人1軒ずつ回るとすると30軒でいいですよ、市の職員全員が。30軒いうと、半日で終わります。ようかかって1日。6割留守だとしてもう1回行けばいい。そうするといろんなことがわかるよと言っとするんだ、わし。本当に出てこんような人がどこにおる。まず、最初にやらん言っとするで怒っとするんが役人が。これ、どこがええかいうと、役人が喜ばれますわ、これやりますと。緑区から来ました言っって、わし区長だけだと言っってみや、あんたが区長か言っって喜ばれますよ、よう来てちょうだいたっって。いろんな話ししますわ。夫婦喧嘩の話も出てくるかしらんけど、そういうの聞くのが仕事だがね、これ。ようけ給料もらっとするんだで。
- ・ということをわし言っとするんだけど、これね今回の大テーマで、大テーマにしよう思っとするけど、やらんと言っとする役人は、家庭訪問は。何だと。地方公務員法にあるのかと、家庭訪問してはならないと。冗談じゃにやあ言っとするんですわ、本当に。ということで。これ言うと嫌われるけどよ、誰か言わないかんですよ。
- ・8人目の方だったかな、集合住宅、年寄りが多くて。確かに中のほうまで入ってくることになって、市バスは奥まで行く、どっかその具体的に1つ2つやっていくとええで。
- ・あそこでもそうだけど、どっかある程度、緑区はあれへんかね。緑区でどっかあったら教えてもらって、市バスが入っていくところをもっと奥まで行くようにするとか、そういうのは話ししたいと思います。
- ・それから、花壇などを市民に任せよと。九州ではあるということで、確かにええわな、これ。ちょっと道路のそこかしこにあって。

【8人目】

- ・もったいないなって。

【市長】

- ・うちの方ですけど、中央線の横の、東側のところものすごくきれいになってますわ。あれ何でだいたら、近所の人やっとするらしいわ、あれ。近所の人、ちょこっと金払っとするらしいですけど、話によりますと。
- ・そこら辺どうするかは別として、ちょこっと身近なところをそうならそうで、お母ちゃんたちに、おっさんでもええけど。気持ちがあえもんだよね、自分ら住んどる人間も。だから、これどうだやってもらったら。と私からはそうですけど、区長も。

【区長】

- ・5人目の方のお話は、緑区、そこらじゅうそういうお話があります。
- ・緑区の道路の特性で、僕も今緑区に住んですごい感じるのは、緑って、昭和38年に鳴海町合併して、39年に有松、大高が合併して、いわゆる名古屋市の戦災復興事業をやってないんですよね。だから、昔のいわゆる町道というものがたくさん残ってて、道路の様子が、戦災復興で本当につくりかえている名古屋とは大分様子が違ってて、今、5人目の方がおっしゃるような路地がたくさんあって、広い道が少ないなというのは、僕も住んでて感じます。
- ・問題なのは、通学の問題もあれば、例えば緊急車両が通るときに滞ったりだとかいろいろな問題が発生するので、計画的に道路をつくっていくということは1つ大事な課題ですけど。

【5人目】

- ・いいですか。

【区長】

- ・はい。

【5人目】

- ・それね、もう本当はもっとももっとももっとも昔にぽんをつくっていればできるけど、今はもう到底できることはできない。
- ・だけど、ある程度通り抜けをやめてくれとか、そういう。

【区長】

- ・規制のお願い。

【5人目】

- ・そう。もうそれ以外、悪いですけどやりようがない。

【区長】

- ・また警察と土木なんかと協議しながら。

【5人目】

- ・最低のことでいいですから。

【区長】

- ・わかりました。
- ・それから、7人目の方の自治体の連携は、7人目の方はたまたま防災の関係で連携のご提案いただきましたけど、緑区はいろんな周辺の自治体と接している最たる行政区なので、僕もいつも意識して隣近所の自治体とのお付き合いのことを考えたりしています。
- ・東郷町とお祭りで交流したり、行ったり来たりしながらだとか、鳴海でお祭りがあると、

豊明から職員さんが来てくれて、いろんな交流、そういう緩い交流はやってますけども、本当はおっしゃるようなシリアスな交流、そういうものがあれば、例えば将来制度が変わって保育所を共有し合うだとか、あるいは医療圏として藤田医科大学があって、医療圏の問題だとか連携できることはいっぱいありますけど、ちょっと区でそういった権限はなかなかないので、今日ちょうど、企画部は自治体の広域連携も担当している所管ですので、そういうことをよく考えながら将来の自治体連携のあり方というのはしっかり考えていかないと、と僕も思っておりますので、よろしくお願いします。

【市長】

- ・別に権限なくても。こういうところに任せると、もう縦割りで終わってまうんですよ、聞くだけで。ほんだで、あんたのほうから市長なら市長に要望書か何か出さないかんわちゃんと。そうでないと、進めへんですよ。こちらに任せたら終わりですよ、もう本当に。わかつとる。
- ・だけど、新区長、この間、みんな気がついとらんかわからんけど、区長がその区に住むことというルールをつくりまして。「ただし」が入っとるでいかんけど、いろんな事情がある場合住まんでもええってあるけども、この区長は住んどるんで。だろ、あんた。だから、これはええことなん。防災もあるけど、やっぱまちづくりで、さっき方言った中国の人の何ですか、おばちゃんのうちの2階に住むとかね、そういうことになってくと、まちに対する愛着ができる。
- ・そういうことになりましたので、がんがん使ったってちょうだい。せっかくだで。本当に。ということです。

【企画調整監】

- ・6人目の方、防災の観点からご指摘いただきました。ありがとうございます。
- ・なかなか液状化対策についてこれはというようなことはないんですけど、私どもは、やっぱりそれぞれの地域が、どういう防災上危険があるのかといった、こういうものはハザードマップ、津波のハザードマップとかあるいは洪水・内水のハザードマップとか地震のハザードマップとかいうものを出しております。

【市長】

- ・液状化は。

【企画調整監】

- ・液状化もこの地震ハザードマップの中に載っておりますので、少しぜひご覧いただきまして。
- ・それぞれで自分の地域はどんな地域なのかなといったことを確認いただけると、大変ありがたいと思っております。
- ・それから7人目の方、貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。実は、他のこういうタウンミーティングの中でも同様なご意見を頂戴したことがございます。名古屋は、おっしゃっていただきましたけども、大きなまちだもんですから、自分のま

ちの市民は自分のまちの中でしっかり対応すると。

- ・むしろ他の自治体の市民をどういうふうに受け入れるのかというような議論はしてまいりましたが、今の7人目の方のようなご指摘については私どもの盲点だもんですから、これは一度、やっぱり防災危機管理局、防災を担当するところともよく打ち合わせをしながら、どんなことができるか対応してまいりたいと考えております。
- ・ありがとうございました。

【コーディネーター】

- ・よろしいですかね。
- ・あと、ちょっと参考までに申し上げると、24万人もの人口を抱えている区とどこかの過疎地域の自治体とでは、対等関係で連携がしにくいと考えられます。区ではなくて、案外学区と田舎（過疎地域）とか。要は町内会同士でつながっているところもあったりするので、もしかしたら、区というよりは、町内会と学区とかでどこかの過疎地域の自治体や自治区などと連携協定を結ぶという話もあり得るのかもしれない。
- ・ただ、そうすると、かなり公の話ではなくなってくるので、じゃあ移動手段をどうするかとか、そういう話はあると思いますけど、場合によっては、食料の備蓄等を連携協定を結んで行っているような自治会も全国にはあったりします。
- ・そういう知恵もあるかもしれませんね。
- ・さて、最後のパートになりました。都市像5ですね。皆さん、もう一度6ページをご覧ください。
- ・魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち。この中には、観光の話もあります。先ほども、一番最初に出ましたけれど、歴史の話とかあるいは産業の話もこういったところに入ってくるかと思います。
- ・そういった都市像5と、あとはこの中間案全般にわたりまして何かご意見、ご質問ありましたら、ご発言いただきたいと思います。
- ・いかがでしょうか。
- ・どうぞ、お願いします。

【9人目（港区）】

- ・よろしくお願いします。
- ・私は、名古屋市に魅力的で先進的な都市であってほしいと強く願っておる人間なんですけれども、今回の総合計画に関しましても、そういうまちづくりの部分については、重点的に読まさせてもいただいたんですけれども、その中に、私港区在住なんですけれども、港湾部分、水辺のリニューアルといいますかそういう部分とか、それから一番大きな事業であるアジア大会、これもあるということなんですけれども、正直、私ずっと名古屋に住んでおるんですけれども、名古屋市の、簡単にいうと再開発みたいな部分に対して割と大きな不満というか不安というか、ずっと持っていました。
- ・その中で、水辺の部分でいいますと、金城ふ頭、ガーデンふ頭があるわけなんですけれども、金城ふ頭も、世界的な企業であるレゴランドが名古屋の地にテーマパークをつくってくれるという話になって、私も喜んだ口なんですけれども、現状、隣のメイカーズピアも

いまいちな状態にもなってしまうているし。

- ・私、レゴランドの話を聞いたときには、当然今の展示場の敷地全部レゴランドに貸与かなと思ってました。当然、私法律とか権利の問題はわかりませんので自分の個人的な話をするだけなんですけれども、当然レゴランドが来て、市長も東西のテーマパークと伍してみたいな発言をされた以上は、今の 1 期 2 期レベルの部分であれば、多分そう遠からず撤退されるんじゃないかなというくらいの心配をしているんですよ。
- ・ぜひ、ぜひというか今さらできるかどうかわかりませんが、相手もあるし、少なくとも展示場の敷地はレゴランドに貸与して、展示場は南側の今の空き地と残る 1 個の海水面、船接岸用に切りかえてあるところですね、あそこが市で埋め立てて権利が持てるのかどうか知りませんが、埋め立てて、そこに展示場を一体型で、使い勝手のいいものをつくるぐらいじゃないと、私、金城ふ頭もガーデンふ頭も、名古屋市としてどうしたいのかというのが全くわからないんですよ、正直。JR もつくってくれた、レゴランドも来たけども、片方で国交省がモータープールを金城ふ頭に集約するみたいな話があるし、もう当然大都市圏の水辺空間はそういうテーマ性のあるエンターテインメントの場所になっていってしかるべきだと思うんですけども、そうっていないだろうと思うし、ガーデンふ頭についても、イタリア村が潰れてからそのままずーっとほかりっ放し。何かやっているのかもしれないけど、見た目はずっとほかりっ放し。
- ・私、個人的な意見としたら、ガーデンふ頭に市民会館を持ってくるぐらいの、柔軟と言っているのかわかりませんが、考えを持たれないのかなという部分があります。今の新聞等での発表でいえば、北側の小さい区間に市民会館をつくられるようですけども、今の、昨今の名古屋市のコンサートホールの減少傾向からいったら、市民会館が今ぐらいのキャパのものが継続的になれば、もう文化も何も、へったくれもないと思うんですよ。
- ・どうせ何もない死んでいる場所なんで、ガーデンふ頭の北東部分に簡単というか、イメージとしては、シドニーのオペラハウスみたいにお金をかける必要はないですけども、意匠を凝らしたような形で市民会館をあそこに持ってきて、金山は、市民会館跡地とアスナルのところは総合的に再開発していただければいいんじゃないかなとか思っています。
- ・あと、瑞穂陸上競技場ですけど、アジア大会のメイン会場になるかとは思いますが、あそこも決定的に土地が狭いんじゃないかなと思っています。今さらなんですけど、20 件ほどある民有地も前々から買収しておけば、こういういざとなったときに使えたんじゃないかなとか思ったりしているんですけども、とにかく地面を確保して、きちっと立派なと言ったらおかしいですけど、国際大会に十分な施設をつくっていただきたいんです、どうせなら。先ほど画像にも出ましたが、インドネシアの会場、すばらしい会場でしたよね。テレビに瑞穂陸上競技場が改修されて映ることを思うと、ちょっと愕然とします。
- ・あと、最後、名古屋城なんですけど、市長の公約で、選挙の再選もされたわけですから、本当に二之丸御殿とか多門櫓まで含めて幕末の状況に復元していただきたいと思っています。
- ・天守閣は、幕末の状態に戻すわけですから、近代的なエレベーターとかエスカレーター

は、本来はあってはいけないものだと思います。事情を説明していただいて、本来の事業に邁進していただきたいなと思います。

- ・あともう1つ、セントラルパークの木伐採されるようですが、名古屋城とか、戦後木を植えたものがものすごいでかくなって見通しが悪くなったり、景観を非常に害している部分もあるので、名古屋城も木だらけで見通しが全く悪いので、とにかく伐採すべきものは伐採して、若木に植えかえていただくとか、そういう手入れの部分もしていただきたいなと思います。
- ・以上です。すみません、長々と。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・かなり具体的なお提案、ご要望でしたね。
- ・お二人目。
- ・ちょうど黄色い、今手を挙げておられる方いらっしゃいますね。
- ・よろしく願いいたします。

【10人目（緑区）】

- ・市長さんは歴史を大切にとおっしゃっておられますが、城山三郎さん、あの方が名古屋出身ということご存じですよ。その城山さんが少年時代に有松の駅を利用されていたことがあるんです、一時期ですけど。そのときに、その駅から捕虜収容所の人たちが電車で労働に通って行かれています、その姿をずっと眺めて、経験されていたということなんです。
- ・それを、城山さんが「捕虜の居た駅」という短編小説を中央公論に出されていたんです。それをもとに、馬場豊さんが「捕虜のいた町」という戯曲をお書きになって、その朗読劇が、おとし絞会館で天ちゃんさんが主演でやられました。それを私見ました。
- ・それで、有松って絞りのまちなのにこんな収容所もあったなんていう歴史があったんだということを私は初めて知ったんです。それで、どこにあるかということ、日本車輛のあったとこだというようなことだったもんですから、有松の年配の方にどこですかということを知ったら、大体あの辺だというように、見当がつくようなところを教えてくださいましたので、私はそこを探し当てたら、何と私の住んでいる家の近くなんですよ。
- ・それで、私がそこに住んだのはもう40年以上たっているんです。それで、そのことにびっくりしたんです。それで即行って見たら、細い道をおりたところの崩れかけたような土手にコンクリートとれんがの壁が2メートル四方ぐらいかな、そのぐらいのが鉄の杭みたいなので崩れないようにして残っているんです。
- ・それで、なぜ私がそこまで知らなかったかということ、私の住んでいるところは山を切り開いてできていた新興住宅地で、皆さんからそういう言葉が全然上らなかったんです。それで、私のように知らない人がきっと緑区にもいっぱい見えると思います。緑区、今聞いたら、新聞で見たら、10万世帯とっていますね。もちろん人口も24万6,000人以上になっています。その中で本当に知っている人はわずかだと思いますが、その残っている歴史、昭和の歴史、戦争の歴史ですね、その跡を何とか保存できないかなと私は

思いますけれども、市長さんどう思われますか。

【市長】

- ・ベリーグッドだ。

【10 人目】

- ・ベリーグッド。じゃあ、よろしくお願いします。
- ・それで、その馬場先生が書かれた、これが戯曲の本と、それとその取材にかかわったいろんなことが書いてあるんです。それで捕虜収容所のお医者さんとの心の交流とかいろんなものもあって、もういろんなあれが書いてありますので、これ、私、市長さんにプレゼントしますので、ぜひ読んでみてください。

【市長】

- ・サンキューベリーマッチ。

【10 人目】

- ・それと、ちょうど出てきたんですけど、その崩れかけたような一角が残っている、その壁みたいなものが写真にありますので、これも一緒に添えておきますので、見てください。
- ・ちょうど駅から私の足で歩いて 10 分ぐらいのところの北東の位置にあります。崩れたような、本当に場所にあるもんですから、何とかならないかなと私は思いますけれども。

【コーディネーター】

- ・風化せずに、歴史の遺産として活用していかなくちゃいけないという、そういうご意見ですね。

【10 人目】

- ・はい、そうです。私の意見として。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・あと、お時間の都合上で、あとお一人ぐらいお指しして終了していきたいと思うんですけども、いかがでしょうか。
- ・どうぞ。お願いします。

【11 人目（緑区）】

- ・私が訴えたいことは、中京競馬場、名鉄電車の中京 4 号踏切。わかりますか。有松 4 号踏切は有松駅の近くにありまして、それをずーっと中京競馬場のほうへ行きますと、中京競馬場 4 号踏切というのがあって、それが、今有松の旧東海道が一方通行になりましたので、交通量がすごくふえたんですね。有松の東海道のところから来たところに踏切

を渡るといふ。ここが通行量がすごくふえ、車の通行量がふえた上に、人の通行量もふえているんです。

- ・一度見ていただきたいと思うんですけど、今は片方にだけ歩道があるんです。それを両方に歩道をつけることはできないか。よく聞いたら、調べましたら、すぐ横のところの空き地は名古屋市の土地になってますので、そこを片方だけなんで、これができるかできんかは、私ちょっと専門的なことはわかりませんが、広げることにはできるんじゃないかなという気持ちで。それをやっていただいたら、車もすごく多いですし、歩く人も、駅から来る人だとか競馬場のほうから来る人だとか、人が多いものですから、ぜひもう1車線広げてほしい。
- ・できれば、名鉄を陸橋にしていいただければその問題は解決いたしますので、その辺の見通しも教えていただきたいと思います。
- ・よろしくお願いします。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございました。
- ・港区の方から最初、幾つかかなり具体的なご提案で、特に再開発に関する話、何点か出ました。
- ・それから10人目の方からは、戦争の遺産として捕虜収容所を生かすべきでないか。
- ・11人目の方からは、中京競馬場のところにある4号踏切、その歩道を両方につくってほしいと。できないかどうかというご質問だったかと思います。
- ・では、市長さん。

【市長】

- ・9人目の方からですけど、本当に名古屋を応援する皆さんのお気持ちからすると、本当にあれですわね、何か欲求不満になりますわね、これ。ほんだで何やっとなるんだ言って。財政危機というのはいそいでして、名古屋港だけで7兆円の貿易黒字ですわ。ただし、半分トヨタですけど。税金上納率は名古屋が断トツトップですから、これ。第2位が川崎で1割以上違う。1割ぐらい違う。ものすごいですよ、これは本当に名古屋の力は。
- ・だけど、何か、そういうこと言ってもしょうがないけど、東京と大阪の真ん中にあるということ、地の利がええと。それから、世界のナンバーワンのトヨタ自動車があるということで、ぬるま湯体制があるの役人の中に、これ。黙とったって税金来るもん、これ。そうでしょ。ものすごいお金がということで、まあええがなと。三男坊でええがやというのが今までの気持ちだった、東京、大阪、名古屋。
- ・だけど、経済界のほうが発展していったもので、この間中日にも書いてありましたが、GRPと言いますが、それで大阪を抜いたんでないかというくらいまで来ておりますので、ちゃんとつくらなかと。それはやっぱり産業の力を落とさず、ここ重要だけど、やっぱり文化的なもののエンターテインメントとかそういうのをつくらないかんです。東京の人が名古屋まで遊びにくるようにせな、1泊ぐらいで。ということなんです。
- ・わーわーわーわー言っとなるんだけど、財政局長が強いかわかんけどよ、河村に言っ

たっておまえなんかいかんわ言って、財政局長が市長みたいなもんだって言った人もお
ります。何ともならんで。

【9 人目】

- ・ 税収がふえているときに手をつけていかないと。

【市長】

- ・ そうですよ。今は金利が安いし、今やらないかん。
- ・ だで、今の港となると、IR の話が 1 つあることはあるんです。これ、IR は皆さん賭博
場みたいと思うかも知らんけど、前ヒアリングしましたけど、大体 3 割ですねカジノ
部分は。あと 7 割はエンターテイメント、実は。だでどうかというのは 1 つありますけ
ど、港をね、港も。
- ・ あと、それからお城のエレベーターは、やっぱりこれはよ頼みますわいうの。本物つく
って世界の自慢にせな、これ。本当に。エレベーターつけると不許可になる可能性もあ
りますよ。

【9 人目】

- ・ 史跡である以上は、史跡指定されていると思うんです。もとのとおりに。

【市長】

- ・ いやいや、歴史的がどうか復元という、復元をしないと建築基準法上いわゆる適用除
外にならんのでやります。今世界コンペやっております、いろんなええアイデアがあ
ればということです。これを機会に、普通の階段の 2 階も上がってけるようなものがで
ければすばらしいことですからね、これ。そういうことでもしとるんだけど。

【9 人目】

- ・ もともと急な階段って、健常者でもそう簡単には上がれないですから。高齢者の方だっ
て、妊婦さんだって、お子さんだって、そう簡単には上がれないものをつくろうとして
いるわけですから。

【市長】

- ・ 昔のお城はそうだったわけで。

【9 人目】

- ・ 戦うべきところは戦わなくちゃ。

【市長】

- ・ まあね。そりゃやっぱりお城はちゃんとつくって、最悪でもないけど、人力でみんな
で上げられるように助けるほうがあったかいじゃないのと言う人はたくさんみえます。そう
言う人は。

- ・でも、わしも、そのかわり国際コンペとかそういうのをやっていこうということでございます。自慢のものをつくらなかんがね、名古屋にやっぱり。都市の1,000年ももつ自慢を。この間、樹齢400年の松の木を岩手からあれしてきましたけど、ありがたかったで本当に、400年の本物。どえらい松だったです、あれ本当に。
- ・ということで、向こうの人が感謝しとるもんで。ありがたなってまってこっちも。名古屋にもらってもらって本当ありがたいと言ってました。
- ・それから、10人目の方の城山三郎さんの本持ってきたけど、これ。城山さんは、わしの大学の先輩になるもんでしゃべったこともありますし。

【10人目】

- ・馬場先生の戯曲の本です。

【市長】

- ・はい。
- ・城山さんは住基ネット大反対で、ああいうものは反対だというのは私と一緒にわーわーやってまして、一緒にビデオに映ったやつもありますけども、その話はわしも何かで読んだことあるんです、アメリカの捕虜。あれがあったために有松の辺は空襲がなかったという説が何かに書いてありましたよ。これが何かに書いてありました。
- ・だで、これはぜひやりましょうよ、ほんだで復元の。アメリカ領事館にも行って。だで、あんたのほうから予算要求してちょ、これ。ええと思いますよ、こういう話というのは。これはお約束しておきます。
- ・それから11人目の方。中京4号踏切で、片側の歩道が名古屋市のだから、これぐらい頑張ったらええがね。歩道が名古屋の。

【区長】

- ・現場を見ます。

【市長】

- ・現場見る言っとるで、一遍現場。わしも行くといいけど、私も忙しいこともないこともないけど。
- ・今、居酒屋のやつ持ってきてもらって、今日5時からあいとる言うんだけど、今日、夜仕事があるもんでよ。ちょっと行けんで申しわけないけど、中京踏切は、区長が行く言っておりますので、あとフォローは僕もしますで。

【11人目】

- ・陸橋はいつごろですか。

【市長】

- ・陸橋はどうなっとる。

【区長】

- ・答えから申しますと、陸橋のめどは聞かされてないです。
- ・これは、名鉄さんとの交渉になりますので、毎年要望はしておりますけれども、なかなか実現には至っていないということになります。
- ・平成 19 年に左京山まで立体交差ができて、天白川から左京山まで大分様相が変わりましたよね。ですから左京山から、おっしゃるようにせめて名古屋市内だけでも立体化することを我々も切望しておりますけれども、そうすると、今言った安全面もよくなるし市域の分断はなくなりますよね。いろんな効果がたくさんあるので、ぜひやりたい。我々も悲願としておりますので、一緒に要望などやっていきましょう。
- ・また現場見せてください。伺いますので。

【11 人目】

- ・自治会のほうには、要望を出しているんです。

【区長】

- ・わかりました。またご案内ください。お願いいたします。

【コーディネーター】

- ・調整監、お願いします。

【企画調整監】

- ・9 人目の方、まちづくりに対しましていろんなご提案をいただきまして本当にどうもありがとうございました。
- ・市長も、役人はやらんと言って怒られておるんですけども、我々としまして、次の計画の中でやっぱり名古屋のまちづくりをもう一回きちっと、要するに見直したいといひますか。世界の中でも売れるようなまちにしたいという気持ちは重々ありまして。
- ・例えば名古屋駅でも、スーパーターミナルにしますので、いろんなアイデアを市長にぶつけながら、次の計画の中で具体的に盛り込みたいと思っておりますので、なかなか至らない点はあるかもしれませんが、役人も一生懸命考えているということだけご理解をいただきたいと思います。
- ・ありがとうございました。

【市長】

- ・ちょっと希望的に言うと、名古屋だと、既存にある程度あるところにもう 1 個立派にするほうがええんですやっぱり。
- ・そのために一番、8 つぐらいあるかな。1 つはやっぱり名古屋駅そのもの。やっぱりこれをどえらいおもしろすると。それから次は栄・大須の辺。それからあと東山動植物園。それから熱田神宮界限。それから港。それからこの有松、この辺ですね。有松・大高この辺のどこ。もう 1 個あったな。
- ・名古屋城。名古屋城、肝心な。

- ・そのくらいのところを相当おもしろくすると。それも本物性を大事にしてねやっぱり。本物性を。続きますから。そこにちゃんとした投資をするというふうで今やっておりまして、その第一歩が名古屋のお城だと。これをというのが、僕のまず認識です。
- ・名古屋に住んどって、おもしろいいうのにならないかんがやっぱり。産業だけでは寂しいでしょう。世界的なコンサートを名古屋でもやると。八代亜紀も毎週一遍ぐらい来ると。八代亜紀いかんか、世界のクラシックでもええですよ。ドミンゴなんかもしょっちゅう、毎月ぐらいにコンサートやると。そういうふうにせないかんわね。ジャズだって、トップクラスがしょっちゅうやるとというのにしてこみやあというのは、しょっちゅう言っとる。あけても覚めても。

【9 人目】

- ・結構愛知県に今差をつけられているというか、そういう結果もあるので。ジブリだったり空港だったり。結局やっぱり地面があるから。何もない地面があったら強いのはある。

【市長】

- ・それはそうですね。

【9 人目】

- ・埋め立てでも何でもやって地面をつくってほしい。

【市長】

- ・はい、わかりました。

【コーディネーター】

- ・時間が限られておりまして、もうあと残りわずかでございます。
- ・あと、どうしてもという方がもし1人いれば。本当にコンパクトで。でも、一度発言された方はご遠慮ください。すみません。
- ・まだ挙げていない。お二人いらっしゃいますね。まだこのお二人。短ければお二人指すことができますので、本当に一言だけで。
- ・本当に手短にお願いします。もう残りあまりございませんので。

【12 人目】（手話通訳士が代弁）

- ・私は聴覚障害者です。聴覚障害者の代表として来ました。
- ・要望があります。2 つです。
- ・1 つ目は、今区役所に行っても手話通訳者がいないので、できれば手話通訳者を設置してほしい。1 人でもいたら、私たちも楽しくその役所に行って手話で話すこともできます。
- ・2 つ目は、手話言語条例の制定です。これも進めてほしいと思います。いつも県のほうにも要望を出しています。なかなか県のほうでもスムーズには進んでいないですが、協力をお願いしたいと思います。

- ・この2つ、よろしくお願いいたします。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございました。
- ・コンパクトにお願いしますね。

【13 人目（緑区）】

- ・一言です。
- ・敬老パスを名鉄や JR のほうにも、ぜひ利用できるようにお願いします。

【コーディネーター】

- ・12 人目の方からの意見は、ほかの別の区でも出てましたね。手話通訳さんを置いてほしいということと、手話言語条例の話でした。
- ・コメント、お願いします。

【市長】

- ・12 人目の方。これ、お話がありまして、区役所に置いてないというのは初めて聞いたけど、置いてないの。

【区長】

- ・筆談です。

【市長】

- ・筆談だけか。
- ・これは、ちいと努力して。もしあれだったら、本当の通訳じゃなくても、学生さんなんかでトレーニング中の人もおるやろ。そりゃ考えをいろいろ考えよう思や、できるで、それ。本当に。その気になりさえすれば。
- ・あともう1つ、手話言語条例については、出すということを言いまして。

【12 人目】

- ・若い人はいいいですが、高齢の聞こえない人が多くなっていることを考えてほしいですね。ボランティアだけでは手話が無理なところがあるので、やっぱり手話通訳者を設置してほしいと思います。

【市長】

- ・はい、わかりました。

【12 人目】

- ・よろしくお願いいたします。

【市長】

- ・一編ちょっと区長から答弁したってちょう。何万人もござるんだったら、やってもええんじゃないの。春日井市なんかおるでなあ、本当に。と思いますよ、わし。
- ・それから、手話言語条例については、これ、ほかの都市もやっとなとこあるもんで、出しゃあと言って、ここの企画調整監が、健康福祉局に話をした。ほんと、またぐちゃぐちゃ言うだねえの。ということの状況ですので、これは出すことになると思います。2月議会ですかねと思いますけど。
- ・それから敬老パス、13人目の方。これは、本当にその辺も考えとるんだわ。だけど、そこまでやってくと、もう何で年寄りだけだという話もある。やっぱり子どもさん連れとる人とか妊婦さんだとか、そういうことね、ということもあるで。年寄りだけよ過ぎせんかということも言えるでしょう。だで、そこまで広げるんだったら、そこまで広げるかと、思い切って。妊婦さんなんかな、小さい子連れだとかええんじゃないですかこれ、となります。
- ・敬老パスの値上げは絶対ありません。これは頑張りますけども、そういう気はちょっとしとる。やるならね。だけど、不公平だということは、緑区の人はまだええけど、やっぱ南区と守山は両方とも地下鉄がありませんので、これはものすごい利便性、利用率ものすごい違うです。こういうやり方だと。
- ・一番利用率に差がないのは減税です、実は。誰も褒めてくれんけど。
- ・100億減税されとるんだよ、毎年。100億。100万世帯あるから、全世帯1万円。わしが市長になって10年になるで、もう10万円減税されております。日本中で名古屋だけ。これ。100億減税したので、税収って300、もうすぐ400億になります。減税すると税収はふえるんです、これ。可処分所得がふえるから。
- ・福祉は悪くなるというのはうそ。本当に嫌になる。やっとなれんですよ、これ本当に。税金減らして文句言っとなんだ、どうなる。本当に。
- ・そのかわり、日本一給料の安い市長がおるということと、市役所の職員が、最後これだけ言っとかんと感じ悪いで。わしが給料減らしたもんで、市役所の職員は1割給料減らしたんです、これみんな。そのお金は大きいんです。これで名古屋の福祉が日本一なのは、これね。
- ・僕が市長になるとき、名古屋市の職員の給料日本一高かった。689万。今、日本12位です。630万ぐらい。70万減って、2万6,000人いるから、180億円です、毎年。うち100億が減税。これが300億になつとる税収が実は。あと80億あるもんで、保育園もようけつくったし、敬老パスだつて、あれ140億もかかっとなけど値上げせえへんですよ。
- ・そういうことは実はできるんだということを頭に入れといてちょうよ、本当に。やっとなれんで、これ本当に。減税して怒られると、おかしなると思うね、わしも、これ。ねえ。本当に。まあええですけど。
- ・そういうことです。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・お時間、ちょうど4時になりまして、あともう少々だけお時間いただきたいと思います。

最後に、簡単に、区長からまずご挨拶いただいて、最後にまた市長に一言だけご挨拶いただきたいと思います。

- ・区長、お願いします。

【区長】

- ・皆さん、熱心なご議論いただきまして、本当にありがとうございます。
- ・今日は、名古屋市全体の将来像を描く計画ですけれども、名古屋市の中の緑区という観点で少しだけコメント申し上げると、緑区の役割は、やはり住みたいまち、それから訪れたいまち、そういうキャラクターかなということで、区の特徴を出していくことが1つあるのかなと考えております。
- ・やっぱり人口一番多いのは緑区ですし、さっき世帯数も、今10万21世帯ということでふえております。それがいいか悪いとかいうのは両方ありますけれども、健康寿命も、男性の健康寿命が16区で1番、女性の健康寿命は16区で2番目に高いとか出しています。
- ・それから、核家族化が進んだと言いながら、16区の中では1世帯当たり人数が一番多くて、2.46。自慢できる数字じゃないですけど、4人5人の時代から見れば核家族が進んでますが、16区の中では2.46人ということで、まだまだ家族の形がほかの区よりは維持できている、そういった地域です。
- ・要するに、住んで住みやすいまちということが言えるのかなと。
- ・名古屋の人口の増加を、多くが緑区で持っているということで、年間2,500人の子どもが生まれる。名古屋全体で2万人ですから、8人に1人が緑の子どもが生まれているという、やはり子どもも産める地域なのかなと。そういった区を、これからはますますそういった特色を生かせるようにということです。
- ・それから訪れたいということでは、歴史文化に根差した非常に貴重な文化的な価値のあるものがたくさんあります。戦争遺構の話も出たりしておりますので、ますます価値が高くなるかもしれませんので、そういったものをフルに生かして、市長からも東京から観光で来るまちにせなかと。リニアができれば、東京駅から鳴海駅まで60分以内で到着するわけですので、世界が激変することを考えれば、ますますそういった取り組みが必要になってくるかと思っておりますので、名古屋を見ながら、だけど緑区のことをよく考えてまちづくりを頑張ってくださいますので、これからはご支援よろしく願いいたします。

【コーディネーター】

- ・市長、お願いします。

【市長】

- ・そういうことで、この区長は緑区に住んでおりますので。住まん人がおるでいかん。そういうルールをつくった。つくったより例外を認めたんだけど、住んどりますんで、いろいろ今の話や何やら、夜たたき起こして、ちょっと出てこい言って、そうやってやらなあかんですよ。区長たる者、そういうところがええとこだ。威張っってはいかんので

す。ということでございます。

- ・なかなか今日は楽しい話がいろいろありまして。さっき方言いましたけど、話のあった居酒屋にはちょっと電話かけたみたいですけど、今日は。区長は知らんけど、今度必ず行きますからってそう言っというてちょうだい。
- ・ということで、大体相当きちっとやると思いますけど、もしやらなんたら、市長ホットラインというのがあります。ホームページに市長ホットライン。それに来ますと、ものすごい来るでどえらい大変だけど、わしも全部読んどりますから、これは。で、きちっと文章で来ますんで、それなりのフォローできます。もしいろいろご意見がありましたら、どうぞ寄せてちょうだいということでございます。
- ・本当に今日はサンキューベリーマッチ。ありがとうございました。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございました。
- ・皆さん、最後までご協力いただきましてありがとうございます。
- ・最後の区長さん、市長さんの話にもありました、より住みやすい緑区、それから名古屋市をつくっていくのは行政だけではございません。当然ながら、先ほどの花づくりの話もありましたし、防災の話もありました。日々の区民の皆様の活動があってこそ、住みよい緑区になっていくでしょうし、また訪れたい緑区になっていくし、さらには、訪れたい名古屋市になっていくかなと思っています。
- ・この総合計画の中間案は、今まで皆さんからお伺いしたご意見等踏まえながら練り上げていきます。そして、計画ができたところで終わりじゃないです。できてからがスタートになります。まさに計画ができた後、区民の皆様方とともに、行政の方々と一緒にいい緑区、いい名古屋市を築かれることを期待しまして、私の最後の挨拶とさせていただきますと思います。
- ・それでは、ご協力ありがとうございました。
- ・どうもありがとうございました。

(以上)